

《 卒業生は今 》

— 漁業に就職して感じたこと —

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 956 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.71 Iくん（令和2年3月卒・航海専攻・現20歳） きんめ底立てはえ縄漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ 「10日間の航海と2日間休暇」の繰り返しです。

Q 大変な事は？

- ・ 最初の航海は船酔いがきつかったのですが、2回目の航海から船酔いがなくなりました。
- ・ 操業中は睡眠時間が短いのが大変です。また、シャワーが壊れて水しか出ないのが辛いです。
- ・ 休暇が多少すくないと感じています。

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ キンメダイやムツの刺身が食べられるのが嬉しいです。

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 乗船実習
- ・ 宿題等を忘れた場合の奉仕作業

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ 現場ではロープワークと刺継ぎをする機会が多くあります。学園の実習中にしっかりマスターしておく必要があります。

Q 学園を出て良かったと思うことは？

- ・ 肉体的にも精神的にも成長できたと思います。

☆ 在学生にアドバイス

- ・ 就職した当初は覚えることが多く、船酔いにも悩まされましたが、覚えることができるし、船酔いも克服できます。慣れるまで我慢することが大事だと思います。

(令和2年6月12日)